

本校2学年の佐久間さんが苦小牧民報にて紹介されましたので掲載します。

日本ジュニア管打楽器コンクール

高校生フルートの部で銀

苦東高2年の佐久間さん

苦小牧市稲荷西町の佐久間春花さん(16)＝苦小牧東高2年＝が、3月24、29日に東京都内で開かれた第27回日本ジュニア管打楽器コンクール(日本音楽教育文化振興会主催)のソロ部門フルートの部・高校生コースで5位に当たる銀賞を受賞した。「レベルの高い奏者が集まる中で受賞できて驚いた」と、喜びをかみしめている。

「諦めないことを学んだ」

同コンクールは、プロの(ジュニア部門(高校生以下)管打楽器奏者を対象とした)下で、同世代で国内トップ「日本管打楽器コンクール」クラスの奏者が集まる。



表彰状を手に笑顔を見せる佐久間さん

音源審査で絞り込まれた13人が出場。音大への進学や海外留学を目指す実力者がそろった中、ポール・タフアネルの「歌劇ミニョン」の主題によるクランド・ファンタジーを演奏した。佐久間さんが小学6年の頃から慣れていたフレス(息継ぎ)のほばない、細かい。連符が続く難曲だ。小学4年から指導する市内しらかば町のフルート教室講師佐久間満里子さん(71)は「コンクール直前はレッスンを週1〜2回に増やして練習した。何事にも一生懸命で指摘したことへの修正が早い」と評価する。

佐久間さんの伴奏を務めたピアノリストの青野有里さん(34)＝しらかば町＝は「当時は高校1年ながら演奏技術の高さと表現力に驚いた。本番では自分も集中して演奏できた」と振り返る。

小学1年でフルートを始め、中学まで吹奏楽部に所属した佐久間さんは、全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテストで2度の全国入賞実績があり、他のコンクールでも受賞を重ねてきた。国公立大学への進学を目指すため、在学中のコンクール出場は今回が最後で「結果を出せたことで、フルート演奏に区切を付けられた」と感無量の様子。諦めないことを学んだ。(受験勉強に)この経験を生かす」と笑顔を見せた。